



大阪府連通信
2018年8月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

寺が池毒ガスの証拠隠滅見学学習会

日本軍毒ガス遺棄問題を

7月22日、堺支部日本軍毒ガス遺棄問題9・30公開講座の準備のため、河内長野市観光協会に歴史的な説明をお願いしたところ、市立図書館、郷土資料担当の鎌田和栄氏が引き受けてくださいます。1948年8月になって村人が



詳しい資料を作った寺が池の歴史的な原点から池の造成工事の内容まで説明されました。下の写真は現地学習会での説明風景です。

説明要旨は以下の通りです。

終戦の1945年8月15日から、軍部は大急ぎで国際法違反の毒ガスの証拠隠滅にかかり、8月20日十数本のドラム缶を堺市金岡町の部隊から寺が池まで運び池の北の端に投げ込みました。

しかし、9月になって池の水が減ってドラム缶が現れました。何も知らされていない村人がその蓋を開けました。中から流れ出た赤い液体を溝に流しました。たま

堺支部 副支部長 田丸 博治

訂正 先月号の「府連通信」記事で、理事・浜正幸氏（新）が記載漏れしていました。お詫びして訂正します。

大阪・長谷川テル

顕彰の会へ入会を

7月8日結成されたテル顕彰の会は、テルの国際反戦活動の紹介や、資料の収集、調査、研究と、学習会や講演会、朗読劇の開催や講師の派遣を行います。奈良の古刹般若寺境内への記念碑の設置や、中国佳木斯への墓参さらに「希望の鳩・ヴェルダマーヨ、長谷川テルの歌（ケイシユガー作詞・作曲）」および合唱曲の普及（演奏会やCD）や日本語版全作品集の刊行を行います。年間会費は2000円、入会を呼びかけています。

市民の手で

北東アジアに平和を

7月22日、日中大阪・革新懇など9団体共催、朝鮮半島の非核化・平和の構築を歓迎する集いが、中央公会堂で開かれ300名が参加。朝鮮民族舞踊と共催7団体の活動が画像で紹介され、早稲田大学客員教授・康宗憲さんの講演がありました。康さんは13年間朴正熙・反共軍事政権下でえん罪政治犯として投獄されていました。

朝鮮半島の地殻変動や非核化、4・27板門店宣言や米朝首脳共同声明の意義について講演され、市民の力で北東アジアの平和を追求しようと呼びかけられました。

山本博一遺作展 「きりえの中の女たち」

大阪府連で副理事長や参与、会計監査などを歴任された、山本博一さん（1915年生まれ、彫金師）のきりえ遺作展「きりえの中の女たち」が7月14日から22日、中央区内で開催されました。途中入れ替えしながら



ら30点近くの「きりえ」を展示。彩色はなく黒や赤の紙を使ったものが大半で、モジリアニ風の女性のきりえが、夫人の清子さんの作品といっしょに並べられています。

夏期募金は（7月末現在）
44件85544円でした。
ご協力ありがとうございました。

第3回市民公開講座 いまに続く戦争の惨禍！

日本軍が遺棄した毒ガスの現状

堺支部は第3回市民公開講座を開きます。調査・治療・支援に関わった中川元小児科医師が映像で報告します。

9月30日（日）1時半 堺市立国際交流プラザ
堺市役所北側・堺東EH第3ビル 6階大会議室
資料代500円

南京の記憶をつなぐ会

過去の歴史を正面から見据え、同じ過ちを繰り返さないために、中国侵略の象徴である「南京大虐殺」の事実を明らかにしていこうと取り組んでいます。参加協力費500円

9月29日（土）1時半 国労大阪会館大会議室
記念講演「南京大虐殺その時大阪では？」
塚崎昌之さん（元府立高校社会科教員）

空海の初上陸地「赤岸鎮」へ

福建省赤岸鎮 空海祈念堂訪問記 ②

卒業生の結婚式が終わって、厦門から新幹線（高速鉄道）で福州へ。5月30日ついに赤岸鎮を訪れたので一安心。入ると、中庭は綺麗に整備され記念碑や灯籠が並んでいた。

州南駅11時43分発の和偕号に乗車。約1時間で霞浦（かほ）駅に到着。人は少なく、ローカルな雰囲気だった。



祈念堂案内の小学生たちと

岩を見つめる。嬉しくてすぐ記念撮影。気温は34度と暑かったが、空海記念堂まで歩いていくことにした。

高野山真言宗 宗務総長 新居祐政作の「赤岸鎮賛歌」

（前半を紹介）

道を曲がったところで、家で昼食を終え学校に行く4人の小学生に出会う。尋ねると、記念堂は学校の近くにあるという。場所を聞くと、「案内します！」という快い返事。汪敏さんと小学生はいろいろお話をしていた。人気のない村の中心街を通り切ったところに空海記念堂があった。

求道不辭萬里遙 乘風波浪水迢迢 大師弘願傳真果 不二法門赤岸遼
*以下省略（字体一部変更）
日本国 高野山文学教授 静慈国詩「重訪赤岸漫題」
も心打つ漢詩だった。

まるで博物館のような立派な正門。正面には、記念堂が見える。残念ながら、門は閉まっていた。事前連絡していなかったので『入れないかもしれない。外からの見学になるかも、これは残念！』と

高野残香凍木消 閩江桃杏正嬌嬌 茲行不為尋芳去 開祖苦心共此朝
*以下省略（字体一部変更）
程よい時刻になったので、管理棟らしき建物の前に行き声をかけ

左奥に官舎のようなものが建っていて、自転車が置いてあった。『管理人がいるな。お昼で休憩しているのだろう。高野山の僧だといいのだが・・』まず、中庭を見学することにする。記念碑がいくつもあり、その記念碑を

北東アジア平和と友好の旅

サハリン50度線を訪ねる

7月9〜14日、日中大阪府連 など4団体合同企画の、韓国からサハリンへの旅に行つて来ました。

サハリン南部は日露戦争後北緯50度線を境に日本領となり、40万余りの人が送り込まれ林業や漁業、製紙業に従事、敗戦を迎えると日本人は帰国できま

が、強制労働で駆り出された朝鮮人などが取り残されました。韓国仁川空港近くの安山市の「サハリン帰国者故郷の村」で、2000年から入居されている20人ぐらいの方と、韓国語やロシア語、日本語を交えて交流しました。

日ソの銃撃戦があった西岸ホルムスク（真岡）の熊笹峠から眼下に真岡の市街と海が見渡せ、鮮やかな紫色のルピナスの花の



日露戦争の交換手9名が青酸カリで集団自決した悲しい歴史も。

現地には旧王子製紙工場や神社などが多く残っていて、当時の繁栄ぶりがうかがいしれ、ロシア風のカラフルな集合住宅や近代的なビル、自動車はほとんど日本の中古車です。寒冷地の為に道路工事をする良い季節と言うわけで、車もほこりだらけです。平和を祈る記念碑や慰霊碑があちこちに建てられ、戦の犠牲者を偲んでいるように

西支部 山本範枝

東大阪で戦争展

7月28・29日「平和のための東大阪せんそうてん」が、200名の参加で開かれました。初日は順調な参観者でしたが、29日は台風の警報発令で、ほぼ開催不可能となり残念。メインの西谷氏のイラク・南スーダン報告や橘田先生の旧日本軍の遺棄化学細菌兵器の中国東北部の現状報告と高校生の吹奏楽部演奏会等すべて中止となり、展示と子供用アニメの上映にしぼっての2日目でした。東大阪支部 松原弘太郎



中国語講座無料入門レッスン

- ① 9/27 (木) 18:30~20:00
- ② 9/29 (土) 10:00~11:30

会場：大阪府連教室

初心者を対象とした講座で、定員は各回14名です。事前に事務局までお申し込みください。

第109期中国語講座は10月1日（月）スタートです。初級から上級まで22クラス見学歓迎です。個人レッスンは平日午後レベルに合わせてご相談に応じます。